

体育館が博物館に

岡崎市常磐小 藤谷さんの民俗仮面53点

岡崎市常磐小学校で十二日、世界各地の民俗仮面を収集している藤谷幸弘さん(モリ)＝岡崎市鴨田町＝のコレクション展示会が始まった。保護者や地域住民らにも見てもらいたいと、授業参観に合わせて企画、体育館が開放されている。きょう十三日正午まで。(横田沙貴)

藤谷さんは百八十点、メキシコ、朝鮮半島と以上あるコレクションから、アフリカ、ネパール、インドネシア、

日本の仮面五十三点を自作の展示用パネルや衝立に並べた。鑑賞する子どもが親しみやすいように、色鮮やかさや表情の豊かさ、モチーフの分かりやすさな



民俗仮面を食い入るように見る児童ら＝岡崎市常磐小学校体育館で

どに気を付けて仮面を選んだ。

この日は全校児童三百四十九人が、授業時間交代で体育館へ。児童は「早く見たい」と勇み足になったり、衝立で区切られた「博物館」を前にすると、仮面の持つ独特の雰囲気

「これは何？」と藤谷さんの腕を引く場面も見られた。一部の学級では感想を絵や文章でまとめるから鑑賞。「片目だけ穴の開いていない仮面があったけれど、なん

「だろー」「歯が細長かったり大きかったりして面白かった」と話し合っていた。藤谷さんは民俗仮面の持つ魅力を紹介しようとして、昨年「不二真直」名義で「モバイルミュージアム(移動博物館)」を主催している。